



第 32 号

発行所 馬場会  
所 市ケ同窓会  
水沢高校  
水沢  
☎0197-24-3151

昨平成十五年は羊年一優しさと穏やかさのイメージからの期待も空しく、現実には裏腹にいろいろな厳しさに満ちた一年でしたが、同窓生諸氏は、如何お過ごしでしたか。

小泉首相の看板である構造改革の勇ましい掛け声も虚ろに聞こえ、一向に上向かぬ経済状態に加えて、国はもろろん、「岩手夢泉土」ならぬ「岩手借金泉土」はじめ、県内殆どの市町村の借金だらけの状態があらさまになり、テレビのニュースと言え、毎日の様に、殺人、盗難、家庭内暴力など、目をおおいたくなるような事件に溢れています。

一方国外に目を向けても、SARS や BSE などの地球規模の問題をはじめ、フランスなど諸国の反対にもかかわらず、大量殺戮兵器を抱えた独裁政権壊滅の大義名分の下に行われたイラク戦争は、戦闘は終結したものの、その後の状態は一体何なのでしょう。戦争の最大の理由であった大量殺戮兵器は末だもって発見されず、一方米国内では、どこまで本当なのか分かりませんが、大きな

石油会社とブッシュ政権との係わりが問題にされ、イラク攻撃の真意は奈辺にあつたのかと疑われても仕方のない状況です。そのような政治と金の結び付きの話は別にしても、米兵の死傷者の数が戦争中よりも戦後の方が大きく上回るといふ皮肉な有り様です。かつて、我が国が同じよ



一

# 体感

同窓会長 及川 源悦郎

GHQ の統制によつて、それらは全て闇の中に葬り去られたのかも知れませんが、それにしろ、もし事実起きていたなら、マスコミならぬ口コミで必ずや伝わったことでありましょう。

民主主義の観点からは決して認められはしないでしょうが、当時の我々日本人が現人神としての天皇を中心の一つにまごまごしていたように、アツラーを唯一神とするイラク人もまごまごしているかと思えば、どうもそうではないようです。

思うに、敗戦後の日本が、経済や治安状態においてもかなりの困難や

うに米国の占領統治下にあつた時とは雲泥の差と思われませんか。なるほど、当時の日本では、「大男による強盗」とか「背の高い男に女性が暴行された」という新聞記事やラジオ報道も結構ありましたが、今イラクで起きていたようなテロのような事件はなかったと記憶しています。ひよつとすると、

乱れはあつたものの、今のイラクのような状態にならなかつたのは、苦しい中ではあるが、国民全体が新しい日本を築き上げるため、お互い頑張つて行こうという一体感があつたからではなかつたのでしょうか。それに対しイラクでは、理由は何なのか分かりませんが、そう言つたものが存在していない

のではと考えるのは私の偏見に過ぎないのでしようか。  
何事によらず、ある事を複数の人間が集団として成し遂げるには、心一つにして協力し合い行動することが大切であり、そこに生まれる一体感が様々な困難を乗り越えるのに必要欠くべからざる力となることは皆さんご存じの通りです。

もちろん、一体感と言っても、ある人にとっては野球やバスケット等の試合での応援、またある年代の人ならば歌声喫茶での合唱、今の若い人ならば、サッカーのサポーターや大ファンの歌手のコンサートでのペンライト振りでしょう。

私にとつて真つ先に脳裏に浮かぶのは、運動会後のファイヤーストームです。夕闇の中、応援歌を声高らかに歌いながら、しっかりと肩組み合つて、燃え盛る炎を中心にぐるぐる回つた、あの青春の一コマ。これまでの人生に於て、様々な困難に遭遇した時、あの時の情景がふと浮かび、ともすれば挫けがちになる自分を奮い立たせてくれたように思います。そして今年も、水高時代のあの一体感を忘れることなく、混乱の続く世を、しっかりと生き抜いて行きたいと思つている次第です。

最後になりましたが、同窓生諸氏の皆様のご健康とご多幸、並びにご活躍を心からお祈り申し上げます。



英語で講演中のマサチューセツ工科大学 教授 岩佐幸和 氏

岩佐先生は、第十八回マグネット工学国際学会で発表のため岩手に来日中で、岩手県地域振興部の協力によりこの事業が実現しました。先生は、アメリカでの生活が長く英語が堪能であることから、ご講演を全て英語で発表していただきました。事前に配付された資料を参考にし、通訳なしで懸命に聴きました。超伝導物質は、冷却すると磁力が発生するため、磁石を浮かすことができます。リニヤモーターカーへの実用が期待されています。すでに超伝導実験を体験している理数科の生徒は、理解

- 六五 参加者
一 九五三 同志社中学卒業
一 九五六 同志社高校卒業
一 九五七 Westminister College (Salt Lake City) 1956年6月～1957年7月
一 九六二 Massachusetts Institute of Technology (Master of Science, Mech.Eng.) June 1962
一 九六四 Massachusetts Institute of Technology (Elect.Engr., Elec.Eng.) June 1964
一 九六七 Massachusetts Institute of Technology (Doctor of Philosophy, Elec.Eng.) June 1967

- SSH事業紹介
特別講義(海外で活躍する研究者)
平成十五年十月二十三日(木)に、本校志学館において先端科学技術に関する特別講義が行われました。
一 演題 「超電導磁石工学入門」
二 講師 マサチューセツ工科大学 教授 岩佐幸和氏
三 日程 十四時〇〇分～十五時三十分 講演
十五時四十五分～十六時十五分 懇談会(理数科の希望者)
四 目的 世界の第一線で活躍中の科学者に講演していただき、どのようにして科学者としての道を行ってきたのか、あるいは現在在研究されているホットな話題を直に拝聴する機会を得る。
また、全て英語で発表いただき、その必要性を実感する。
五 参加者
一・二年生理数科、二年生理系、三年生希望者

SSH事業実施概要

Table with 3 columns: 事業名, 期日, 備考. Lists various events like 'ノーベル物理学賞受賞者 小柴昌俊先生講演会' and '特別講義 (岩大農)'.

できたようですが、他の生徒には難しい内容もありました。英語での講義は初めてで、テレビの取材もあつたことから緊張した生徒もありました。学会の雰囲気を実験でき新鮮でしたが、学会の研究をする上で英語力が必須であることを実感しました。
http://www2.iwate-ed.jp/sw-h/risun/index.html をご覧下さい。

今年の水沢高校



校長 石田奉昭

水沢高校は今年で創立九十三年目にあたります。その間、水沢高校は多くの優秀な人材を各界に輩出し、その活躍ぶりには大変なものがあります。その卒業生の皆さんにとつて、高校時代の思い出は、今になっても鮮やかに、そして熱い思い出として蘇ってくるようです。
春には雲のごとく咲き乱れる桜を眺め、夏には深緑の木々に蝉の声を聞き、秋にはカサコンと枯れ葉を踏みしめ、冬には一面の銀世界に足跡をのこし、あの広大な校地に建てられた兵舎のような木造校舎での生活は、青春の大きな大きな一ページだったと思います。
今年、水沢、盛岡、名古屋、関東の各地区同窓会に出席しましたが、どの地区も大変な熱気で、母校への大きな期待とエールを頂きました。私は、その同窓会で今年の水沢高校について様々なお話をしましたが、そのなかで、文武両道を貫く水沢高校の特に強調したかった点について、「文」と「武」の代表一つずつを改めて述べてみたいと思います。そこで水沢高校の素晴らしさがあると思

うからです。
まず、「文」に関しては、なんとと言ってもSSH(スーパーサイエンス・ハイスクールII理数教育重点校)の指定が挙げられると思います。このSSHは、理科離れ・数学離れを防ぎ、理数科教育振興をねらい、更には、将来の科学技術立国日本を担う理数系の人材育成を目指すもので、昨年度から文部科学省の指導で始められたものです。今年、全国で二十六校が指定されましたが、岩手県では本校が初めてという快挙でした。この事業で本校の目指すものは、「世界を視野に入れた創造性・独創性溢れる人材の育成を目指す」、情報ネットワークの活用、大学等との連携、国際交流、学校設定科目の指導などを通して、成果を上げていく」というものです。事業の裏付けとなる予算も年間二千万円(二、三年目は千五百万円)という、普段の高校予算から考えると夢のような配慮です。本校独自の様々な事業が行われましたが、特に、ノーベル科学賞受賞の小柴昌俊教授のZホールでの講演や、国際マグネット会議で

水沢高 スーパーサイエンス校に指定
科学の子、飛躍後押し
大学教授が本格講義
2003年(平成15年)4月11日(金曜日)

来県されたマサチューセツ工科大学の岩佐幸和教授の本校での特別講演は意義あるものだったと思います。このSSH事業は、理数系が中心ですが、学校全体の授業や研修・研究にも好影響が見られ始めております。
次に「武」に関しては、クラブ活動の素晴らしい成果が上げられますが、ここでは男子卓球部について取り上げたいと思います。今年の卓球部は、県の高総体、県民体、新人戦、選抜大会と全てにおいて優勝を遂げ、インターハイ、国体にも出場しておりま

平成14年度および平成15年度(12月末日現在) 激励金交付一覧

Table with columns: 年度, 交付日, 部活, 大会名, 場所, 備考. Lists activities and awards from 2002 to 2003.

同窓生の著書 (図書館寄贈分)

平成16年2月現在

Table with columns: 著者, 書名, 卒業年. Lists books by alumni and their graduation years.

平成十五年度総会

平成十五年度水沢高校同窓会総会が、八月九日(土)午後五時より、水沢グランドホテルで開催されました。当日は、台風十号が通過中の荒天にもかかわらず、三十数名の方に...

意が必要ということ。また、繰越金が必要という。また、繰越金が年々減少し、予算もそれに伴って縮小せざるを得ない現状であることなどが報告されました。総会の後は、今年度からの開校記念講演会に代わるものとして同窓生による講演会を実施しました。今年度の講師は佐藤英夫先生で、「中国あれこれ」と題した講演をいただきました。...



中、水高同窓会のみますますの発展を祈り、校歌とエールでお開きとなりました。



支部だより

盛岡支部総会

平成十五年七月十一日(金)午後六時からサンセール盛岡にて開催されました。本部から及川源悦郎同窓会長、石田奉昭校長、中山敏事務局長が出席しました。

石田校長より、スーパーサイエンスハイスクール指定を中心とした学校の近況が報告され、かつての理数科設置当初の話題に花が咲きました。また、夏の甲子園岩手大会開催直前でもあり、野球部を中心とした部活動の話題で大いに盛り上がるなど、母校後輩の文武の更なる活躍を期待する思いがひしひしと伝わってまいりました。

例年になく所用繁忙等の会員が多く、参加者は少なかったが、参加者一人一人が近況や高校時代の思い出を語り、充実した一時を過ごすことができました。会員の方々からは、若い会員の参加をどうやって増やすか等の問題も提起されました。



関東支部総会

100人を超える盛況ぶり

平成十五年度の水沢高校関東地区同窓会は平成十五年十一月十五日、いまや水沢高校関東地区同窓会のホームグラウンドとさえいえる、東京・大手町の経団連会館で開催されました。

二年に一度開かれるこの会も今回で十二回目。各地で開かれる同窓会のうち、最大の参加者が数えられる関東地区。今回はさらに万全を期するため、各年次に学年委員を委託し、それぞれの同級生に出席を募ったところ、一〇三名の大人数の盛況になりました。

会計報告等の総会の後、水沢からおいでいただいたOBの佐藤秀昭さんが特別講演。郷土のヒーロー、アテルイをテーマにした講演だけに皆さんの関心は高く、終了時には常にも増した拍手が巻き起こりました。次いで、部屋を移動して開かれた懇親会。

当日は本部から石田奉昭校長先生と事務局の丹野マリ先生、及川源悦郎同窓会長が出席され、母校の近況等を紹介していただきました。郷間を出て数十年という会員の方もおいでになり、水沢の様子、母校の現況に興味津々の趣がありました。



当日は本部から石田奉昭校長先生と事務局の丹野マリ先生、及川源悦郎同窓会長が出席され、母校の近況等を紹介していただきました。郷間を出て数十年という会員の方もおいでになり、水沢の様子、母校の現況に興味津々の趣がありました。また、当日は本校OB初の国会議員、平野達男参議院議員ご本人が、同窓生として出席。政務の重荷をしばし肩からおろし、歓談の輪に加わっていました。

水高育英会より

水高育英会は、昭和二十八年に設立された「水高PTA育英部」を母体として現在に至っています。現在までの貸与者は、本年度貸与決定の五名を加えて一八四名となり、そのうち貸与中の者は十四名で、月額四万円を年二回(五月・十月)に分けて送金しています。

ここ数年の予算は一千万円ほどで、毎年適正に執行されていますが、他の奨学金の月額と比べると見劣りするようになってきましたので、今後は貸与月額の値上げも検討しなければなりません。また、奨学生の募集は五月末で締め切り、六月に開かれる評議委員会で採用が決定されますが、日本育英会の改革に加え、長引く不況のためか、近年希望者が増加傾向にあります。

水高育英会は、志有る学生を応援して参りたいと思いますので、ご支援ご協力願えれば幸いです。

名古屋支部総会

(平成十五年十一月八日午後五時 大同特殊鋼健保会館2F)

設立以来九回目を迎えた名古屋支部の総会は同窓会本部からは鈴木慧副会長、母校からは石田奉昭校長先生をお迎えして開催しました。一週間後に関東支部の大会が控えているとのことで、例年は参加の特別会員(元名古屋地区、現関東地区居住)の方々も今回はお顔を見せられず、会員出席者は佐々木稔治支部長(高校6回生)はじめ十一名と例年より少なかつたのですが、会そのものはいつもと変わらぬ和やかで、大変楽しいものでありました。

石田校長先生からは、後輩たちの活躍ぶりを、鈴木副会長からは、ご高齢にもかかわらず、今尚お元気に活躍中の恩師高橋一族?の貞雄・寿郎・力のお三人の先生方をはじめとする恩師の方々のご様子をお話し戴き、ひとしお懐かしい想いに浸りました。

総会を終えての一次会の後は、会員でもある住吉豊氏(高校14回)の



識した次第です。ただ、年度横断の同窓会にはありがちなのですが、知り合い同士が固まり、手持ち無沙汰の会員の方も見受けられました。何しろ、水高OBは「おしよがり」ばかりですので、その辺の融合策が次回以降の課題ではないかと考えます。

とはいえ、楽しい時間は瞬間に過ぎるもの。応援団リーダーOBの現役早大生、加藤大智君のタクトで校歌斉唱を行い、今回の同窓会はお開きとなりました。同窓会の意義につきましましては、誰しも認めるところですので、学年委員の機能強化や、同窓会のホームページの開設などが、次回からの課題として提示されたことをご報告いたします。次回関東地区同窓会は、来年開催の予定です。今回以上の参加者となりますよう、皆様のご協力をお願い申し上げます。

関東地区同窓会運営委員

平塚 信三(昭和49年卒)

追記

同窓会関東支部会長小野スミ子様より「国際水墨画展」・「美術年鑑2006」の2冊を水高に寄贈していただきました。

# 同窓生から寄せられたお便り

## 8年ぶりの同級会

及川アイ子  
(高1・昭24卒)

悲しい事件や暗いニュースの多い中、とてもあたたかい話題です。今秋の褒章は胆江から藍綬3人で、そのうちの一人が同級生のTさんです。Tさんは、28年もの長い間、調停委員として活動してきました。家庭における種々の問題など、数多くの調停に尽力し「話をよく聞き公平に」をモットーに活躍してきました。

このほど、県内在住の水女22期生40人が参加してTさんの藍綬褒章受章のお祝いをしました。私にとつて同級会は8年ぶりです。

開会セレモニーは、おめでたい「黒田節」の日舞で幕を開けました。幼少時代からの長いつき合いの思い出話を級友が披露し、会場は静から動へと転回します。にわか仕立ての「ピンキーとキラーズ」のダンス、「喜びの歌」の合唱、歌謡曲に合わせた踊り、「九段の母」などの名演技に拍手喝采、そしてアンコールです。受章者のあいさつは、司会者と問

答形式で行われ、耳を傾けました。誰しも未経験の宮中参内の事なので好奇心満々です。きれいな和服姿のすてきな写真2枚と褒章のメダルが回覧されました。見るもの聞くものすべてが無縁の雲上の世界に、ただうっとりするばかりです。

宴たけなわで、別れる事はつらいけど「星影のワルツ」に合わせ、全員が輪になり手をつなぎ歌いながらスイングして閉会セレモニーとなりました。40名の参加者は、心をひとつにし受章の喜びを共に味わい、なごやかで有意義な受章を祝う同級会でした。

受章者のTさん並びに幹事の方々に感謝致します。市内の会場がさいわいし、出席することができました。懐かしい友との語らいを得、童心に戻り身も心も踊り、外は雨でも気分は晴れ晴れとして、存分に楽しませて頂きました。

リハール無しの本番は一度きり。日ごろの優さや雑事から解放され、笑いの渦の中に、盛會裏に会を了え、この上ない幸せをちょうだい致しました。(胆江日日新聞より)

## 叙勲のお知らせ

### 川又 敬治

(高3回・昭26卒)

元名古屋高等検察庁部長検事の川又敬治氏(高校昭和26年卒)が、平成15年春の叙勲で、勲三等旭日中綬賞を受賞し、伝達の際には受賞者を代表して謝辞を述べました。現在川又氏は東京で法律事務所を開業しています。



中央が川又敬治氏

## 第二回水沢高等学校第八回卒業生作品展開催について

第八回(昭和三十一年卒業生) 阿部 勝

平成十五年六月一日より三十日迄の一ヶ月間、「水沢市めんこい美術館」で第二回作品展を開催しました。第一回の開催は二年前の平成十三年十月二十七日からの一週間でしたが、出品者が二十一名と予想外の多人数で開催された。

今回の第二回については、毎年やってくる同期会(六月三十日)に合わせて、ぜひ開催しようということとなり、出品募集をしたところ、第一回と同じ二十一名の申し込みがあった。このうち新たな出品者が四名もあったことは開催価値があったと思えた。

内容はバラエティに富んだものであり、絵画六名、書四名、写真六名、手芸四名、書籍二名、その他(印刷物パネル展示)二名などで、一人で各種分野にチャレンジしている者もあって、作品数は全部で八十四点となった。美術館の大展示ホールに隙のない十分な展示が出来た訳で観客数は、美術館側の集計で期間中、八百三十四名であったことは話題となったことを示しているのだろうか。

私達八回生は、昭和二十八年に水高に入学して、三十一年に卒業した二百九十三名で、卒業後四十七年を経た今、近年は毎年同期会を開いている。今年は二十五回目、金ヶ崎町の千貫石温泉で開催し参加者は過去最高の七十四名であった。今後、県外、県内と交替の開催を予定しており、作品展は県内開催時行う予定

である。もちろん私達の余命には限りがあるので、何時迄続けられるかわからないけれども、生きているだけでなく、何か創造していくことを目標にして、継続していくつもりである。今後、水高卒業生全体に輪が広がって、伝統行事として存続されればなお良いことと願っている。



## 歩んだ道を映す84点

水沢高第8回卒業生 2回生の 書、絵画など力作並ぶ

県立水沢高等学校(水高)の第8回卒業生作品展が、30日まで水沢市・めんこい美術館で開催されている。書、絵画、手芸など、卒業生がそれぞれの個性を凝らした84点の力作が、展覧に飾られた。卒業生たちは、この機会に、歩んだ道を振り返り、未来への希望を込めて、力作を展示している。



(胆江日日新聞より)

胆江日日新聞 2003年(平成15年)4月22日(火曜日)第1967号

## 恩師らと久々再会

卒業50周年機に同級会

水沢高5回生



水沢高等学校(水高)の卒業50周年を記念し、同級生らと久々再会する同級会が、21日(土)午後、水沢市・めんこい美術館で開催された。当日は、卒業生ら約100人が参加し、懐かしい思い出話を語り、今後の交流を誓った。

## 『娘からの電話』

ある日突然ポケットで何かが入った。生き物でも紛れこんだのかと思ったが何の事はない。携帯電話であった。言わゆる「マナーモード」にしてあったのが作動しただけなのだが、おもむろに画面を見ると、なんと、娘からの電話であった。

仕事から、日本には年半分位しかいないこともあって、時折、アメリカ、ヨーロッパ各地からの絵ハガキ類は届くものの、私に直接連絡して

くることなど、全く、と言っているほどなのである。聞けば「明日からドイツへのフライト」との事。そう言えばブッシュ大統領が声高にイラク攻撃を宣言したのは昨日であった。勤務先の「家族への連絡」の「指示」があったか否かは定かではないが、娘の穏やかならぬ胸中が見取れたものでした。現代戦争は「ピンポイント」で目標に寸分の狂いもなく的確な破壊が可能である、と言われます。それ故、なおさら民間機を誤爆など到底考えられないことであるが、戦争のさ中、命をかけた最大限のストレスを抱え仕事に携わっている娘に対して、人間として親として頭の下がる思いでした。先般の同時テロ前後も、娘はハワイ、アメリカ路線で勤務しており、同期の乗務員が多数退職した、とも聞いております。「テロ」も「戦争」も状況こそ違え「大量無差別殺戮」に変わりありません。

イラク戦争は、なんとか終結しましたが、今、尚、地球上には数々の紛争が起き、絶望に打ちひしがれている人々がいます。全地球的な恒久平和、安心、安全をただただ願うものです。及川光則(高20回・昭44年卒)





平成15年度部活動の記録

水高に文武両道の花咲き乱れ

《運動部》

- 男子
  - 卓球部
    - 岩手県高等学校総合体育大会 団体 優勝(インターハイ出場)
    - 個人 シングルス 優勝
    - 加藤 慶之 (インターハイ出場)
    - 那須 吏貴 5位 (インターハイ出場)
    - 阿部慶一郎 ベスト8 (東北大会出場)
    - 佐々木光太郎 ベスト8 (東北大会出場)



- 男子
  - 個人ダブルス
    - 那須・阿部組 2位 (インターハイ出場)
    - 加藤・佐々木組 3位 (東北大会出場)
  - 岩手県民体育大会 優勝
  - 個人 シングルス
    - 阿部慶一郎 (国民体育大会出場)
    - 全日本ジュニア岩手県予選会 3位
    - 那須 吏貴 3位 (全国大会出場)
    - 佐々木光太郎 3位 (全国大会出場)
  - 新人大会
    - 団体 優勝 (東北大会出場)
    - 個人 シングルス 加藤 慶之 2位 (東北大会出場)

- 男子
  - 那須 吏貴 3位 (東北大会出場)
  - 佐々木光太郎 3位 (東北大会出場)
  - 個人ダブルス
    - 加藤・那須組 優勝 (東北大会出場)
    - 佐々木・遠藤組 3位 (東北大会出場)
  - 岩手県選抜大会
    - 団体 優勝 (東北大会出場)
  - 女子
    - 岩手県高等学校総合体育大会
      - 団体 1回戦
      - 個人ダブルス 高橋沙綾・宮崎佳余組 ベスト16
    - 新人大会
      - 団体 2回戦
      - 個人ダブルス 宮崎・千田組 ベスト16



- 男子
  - 個人ダブルス
    - 那須・阿部組 2位 (インターハイ出場)
    - 加藤・佐々木組 3位 (東北大会出場)
  - 岩手県民体育大会 優勝
  - 個人 シングルス
    - 阿部慶一郎 (国民体育大会出場)
    - 全日本ジュニア岩手県予選会 3位
    - 那須 吏貴 3位 (全国大会出場)
    - 佐々木光太郎 3位 (全国大会出場)
  - 新人大会
    - 団体 優勝 (東北大会出場)
    - 個人 シングルス 加藤 慶之 2位 (東北大会出場)



女子サッカー部

- 男子
  - 岩手県高等学校総合体育大会
    - 選抜大会 ベスト8
    - 新人大会 ベスト16
  - 女子
    - 岩手県高等学校総合体育大会
      - 準優勝 (東北大会出場)
      - 優秀選手 藤原 千春
      - 岩手県民体育大会 準優勝
      - 選抜大会 1回戦
      - 国民体育大会 (伊藤千夏、藤原千春、柴田真紀)
      - 新人大会 ベスト8
    - 新人大会
      - 個人 渡邊陽子・伊藤美智江組 5位 (インターハイ出場)

- 男子
  - 新人大会
    - 団体 ベスト16
    - 個人 穴戸・及川組 ベスト8
  - 選抜大会
    - ハレーボール部
      - 岩手県高等学校総合体育大会 3位 (東北大会出場)
      - 優秀選手 本明 達也
    - 岩手県民体育大会 3位
    - 新人大会 2回戦
    - 新人大会 1回戦
  - 女子
    - 新人大会
      - 団体 2回戦
      - 個人 シングルス 佐藤 貴博 4位 (東北大会出場)
    - 新人大会 2回戦
    - 新人大会 1回戦

- 男子
  - 岩手県高等学校総合体育大会
    - 新人大会 ベスト8
    - 山岳部
      - 岩手県高等学校総合体育大会 10位
      - 新人大会 12位
    - 新人大会 6位
    - 新人大会 3位
  - 女子
    - 新人大会
      - 個人 100kg超級 佐々木悟 ベスト16
    - 新人大会 2回戦
    - 新人大会 16位

- 男子
  - 高橋摩帆 走り高跳び 7位
  - 岩手県民体育大会
    - 伊藤 奏 8部
    - 藤波 梓 9部
    - 新人大会 200M 7位
    - 藤波 梓 100M 5位
    - 4x400Mリレー 8位
    - 4x400Mリレー 6位 (伊藤、坂本、藤波、本城)
  - 新人大会
    - 千葉 達郎 3位 (東北大会出場)
    - 小野寺健太 4位 (東北大会出場)
    - 50M自 6位 (東北大会出場)
    - 200M自 7位 (東北大会出場)
    - 400Mメドレーリレー 7位
  - 女子
    - 岩手県高等学校総合体育大会
      - 千葉 達郎 4位 (東北大会出場)
      - 太、鈴木伸哉 4位 (東北大会出場)
      - 岩手県民体育大会
        - 小野寺健太 4位 (東北大会出場)
        - 千葉 達郎 7位 (東北大会出場)
        - 千葉 達郎 2位 (東北大会出場)
        - 200M背 3位 (東北大会出場)
        - 100M背 2位 (東北大会出場)
        - 100M自 4位 (東北大会出場)
        - 50M自 4位 (東北大会出場)
        - 100M自 4位 (東北大会出場)
        - 200M背 2位 (東北大会出場)
      - 新人大会
        - 小野寺健太 4位 (東北大会出場)
        - 千葉 達郎 7位 (東北大会出場)
        - 千葉 達郎 2位 (東北大会出場)
        - 200M背 3位 (東北大会出場)
        - 100M背 2位 (東北大会出場)
        - 100M自 4位 (東北大会出場)
        - 50M自 4位 (東北大会出場)
        - 100M自 4位 (東北大会出場)
        - 200M背 2位 (東北大会出場)

《文化部》

- 吹奏楽部
  - 全日本吹奏楽コンクール県大会 Aクラス 銀賞
- 音楽部
  - 全日本合唱コンクール東北支部大会 銀賞
- 囲碁将棋部
  - 県高校囲碁大会 団体 3位
  - 県高校囲碁新人大会 団体 3位
  - 県高校将棋新人大会 団体 優勝
- 書道部
  - 県高総文祭 菅原ゆかり 奨励賞
  - 入選 菊地雅俊、及川雄悟、阿部めぐみ
- 美術部
  - 全国高総文祭 絵画部門 門出展
  - 県高総文祭 佐藤杏里・八重柏裕美 特賞
- 写真部
  - 県高総文祭 優良賞2点
- 文芸部
  - 県高総文祭 優秀賞各1点
  - 俳句・短歌 優良賞各1点
- 演劇部
  - 県南地区高校演劇発表会 優良賞
  - 県高総文祭かるた部門 2位
  - 千田和泉 (全国高総文祭出場)
- 生徒会誌「みずこう」
  - 生徒会誌コンクール 佳作



# 後輩も頑張っています

## 最近 5 年間の大学合格状況

卒業年		15	14	13	12	11
国公立	延人数	137	121	132	136	149
	実人数	135	120	129	130	132
私立延人数		231	218	244	240	306
北海道		0	2	3	0	0
弘 前		8	6	7	8	4
岩 手		28	20	25	28	22
東 北		7	5	9	13	11
宮城教育		0	1	2	1	5
秋 田		3	4	5	2	4
山 形		9	2	15	12	12
福 島		8	10	9	11	6
茨 城		6	5	4	4	9
筑 波		1	3	1	2	3
宇 都 宮		8	4	1	2	3
埼 玉		7	5	2	4	3
千 葉		0	1	3	2	1
東北学院		20	19	26	27	31
慶応義塾		1	0	1	3	1
中 央		6	7	7	8	2
法 政		3	4	4	3	4
明 治		8	9	12	7	5
早 稲 田		6	6	9	8	7
東 大		0	0	0	0	1

### 平成十五年度 職員異動

◆転入  
畑 正好(教頭) 岩泉田野畑校  
田中 良晴(英語) 大東  
廣野 泰(世界史) 遠野  
千葉美津男(数学) 藤沢  
千田 俊久(数学) 遠野  
笠川 明香(英語) 盛岡第三  
伊藤 治子(国語) 岩泉  
今松 正明(英語) 釜石南  
佐藤 好孝(化学) 常勤講師  
秋田 浩介(体育) 常勤講師  
高橋 吉男(事務長補佐) 宮古商業  
及川 幸江(家庭) 非常勤講師  
松本 章子(スクールカウンセラー)  
ジェラルド・ミーナハン(英語指導助手)

佐々木 安(用務員)  
◆転出  
及川 昭司(教頭) 盛岡北  
小野 隆士(英語) 遠野  
及川 清克(数学) 宮古  
入駒 智(英語) 宮古  
金森満里子(英語) 千厩  
中島 新(国語) 盛岡第三  
菅原 一成(世界史) 釜石南  
工藤 里花(体育) 冬季国体推進室  
佐々木 博(事務長補佐) 大野  
佐藤 八郎(用務員) 花巻南  
◆退職  
高木 俊士(数学)  
石川 淑子(家庭)  
若槻 隆雄(英語)  
リンダ・パレンテ(英語指導助手)

### ◆◆ご注意願います◆◆

「岩手県立水沢高等学校同窓会名鑑」発刊のはがき  
が同窓生に発送されていますが、全く学校とは関係の  
ない業者が行っているものです。送金したが品物が送  
られてこないなどのトラブルが生じております。事務  
局に苦情の連絡が来ますが、はがきには学校とは一切  
関係がない旨も記されており、対処致しかねますので  
ご注意ください。  
なお、今後の同窓会名簿の発行については、プライ  
バシー保護の問題もあり、白紙の状態です。

### 編集後記

◆昨年11月のことでした。夜中から  
吹き荒れた風が朝になっても吹き止  
まず、第一体育館に掲げてある校章  
が落下するという事件が起こりまし  
た。いつも見上げていたのですが、  
間近で見るとその大きさに改めて驚  
かされました。この校章は、昭和45  
年3月の卒業生一同が、卒業記念品  
として寄贈したものです。30年以上  
も水高を見守ってくれていたのだな  
あとと思うと感慨深いものがありまし  
た。その後校章は無事修復され、元  
の通りに設置されました。校章をね  
ぐらにしていた雀たちもまた戻って  
くるに違いありません。

### ◆いじり寄付のお願い

平素よりご支援いただき、ありが  
とうございます。金額はいくらでも  
かまいませんのでご協力願えれば幸  
いです。

- 郵便振替口座
- 水沢高等学校同窓会 02250-1-62903
- 水沢高等学校育英会 02340-2-3773
- 水沢高等学校野球部後援会 02310-9-757